

# はやま もり 麓山の杜みどり通信

発行元 21世紀記念公園麓山の杜管理事務所  
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17  
TEL924-2194 FAX924-2195

## 寒さの中でも植物は動き始めています

「園内の記念樹 モクレン」



(春を待つ蕾)

### 【お知らせ】

次回の「記念樹交付とみどり講習会」は、  
平成26年3月9日(日)です。

- ♥2/15「いけばな初歩講座」(池坊)開催
  - ♥2/20・2/27・3/6「大人茶道教室」開催
  - ♥2/22「ひなまつり生花アレンジ」(園芸)開催
- ※詳細は、事務所までお問い合わせ下さい。

### ガーデニング ワンポイント

## この時期を逃さずに!

旧正月も過ぎて日中の時間も長くなり、さす陽射しにも春の訪れを少しずつですが感じられるようになってきました。しかし、この冬は降雪量こそ少ないですが寒さが厳しく乾燥も続いています。寒さに弱い植物は傷んでいる物も見かけられます。まだ寒さは続きますが、この時期に必要な作業があります。これからの育ち具合が左右される大事な作業です。

【水やり】 今年降水量が少なく寒風にさらされ乾燥しています。また日陰は土が凍結して灌水しても根まで届かない状況です。これからの時期に植え替えた場合は、芽を膨らませるためにも特に水分が必要です。暖かい日を選んでたっぷりと樹幹全体にあげます。あげた水が凍らないような時間帯にします。水やりは、水分を根に届けると同時に新鮮な酸素を供給するのが大きな目的です。根腐れとは根に酸素が不足し窒息状態のことです。

【肥料】 多くの樹木はこの時期から肥料をあげます。

寒肥と呼ばれ緩効性有機質肥料を施します。骨粉が混ぜられている醗酵済み油粕が適しています。その時に腐葉土なども一緒に混ぜると土壤改良の効果も高まります。寒肥をやることで春先からの芽の吹きが違ってきます。肥料の与え方は、ただ地表に撒くのではなく地面を掘って埋め込みます。そうすれば肥料が流れずまた臭いなども防げます。そして土壤改良にもなり細い根が切られる事によってそこから新しい根が伸びだします。ただしこの時期に根を傷つける事が適さない種類は注意をします。掘る場所はその樹木の先端の枝先の真下周辺になります。掘り方としては環状にする場合と壺穴状にする場合があります。深さは30cm程度です。

【病害虫防除】 この時期でも目につくカイガラムシやアブラムシの退治は厄介です。ただこの寒

(いけばな初歩講座②)



「1月のいけばな教室作品」(池坊)

21世紀記念公園 麓山の杜「みどり通信 No.92 2月号」 発行日：平成26年2月1日  
 い時期だけに使用できる薬剤（マシン油乳剤）がありますから使用方法を守って散布するのも効果があります。手で落とせるようなカイガラムシ（ロウムシなど）なら薬剤を使用しなくとも大丈夫です。  
ケムシ類の越冬している卵の塊やイラガの繭なども見つけ次第取り除いておきます。サクラに発生するテングス病もこの時期に剪定をして取り除きます。葉からふえて周りに拡がります。寒肥をあげる時に地面を掘るとコガネムシの幼虫なども出てくることがあります。特に街灯の近くが多く発生していますのでこれも退治しておきます。

【剪定】 この時期の常緑広葉樹は出来るだけ弱めの剪定をします。その後の芽の吹きが悪くなるためです。落葉樹の強めの剪定はこの落葉時期に可能です。春に芽が動き出す前までが適期です。しかしカエデ類は切り口から樹液が出てきますので向きません。樹液が出ることによって枝枯れしたり樹勢が弱まりカミキリムシなどの被害に遭いやすくなります。マツ類はこの時期にもみあげ（古葉などを抜き取る）や混み合っている枝を間引きます。そうするとこれからの湿った雪による枝折れを防ぎ、またマツを弱らせることなく綺麗な姿にすることができます。マツの枝を剪定した時に切り口からヤニがすぐ出てくる時はそのマツが健康とされます。ヤニ（樹脂）はマツにとっては健康のパロメーターです。ただ総ての樹木に言える事はこれから芽吹きをする新芽を大事に残して剪定を行う事です。秋遅くに剪定するよりこの時期の方が良いのは今年の芽が完全に出来上がっているからです。ウメを落葉の時期に剪定をしたら春に芽が吹かない経験をしたことはありませんか？落葉樹ですからこの時期が適期ですし梅園などでも行っています。しかしその品種によっては枯れてはいないのに芽が吹かないという事が起こります。そういう品種は葉の茂っている時期に行うと良いようです。

【植え替え】 常緑広葉樹はこの地域では春先が最適期となります。なるべく避けるようにします。落葉樹は厳寒期を除けば適期になります。条件が悪くても枯れにくいようです。マツ類などの針葉樹は春先まで可能です。何事も適期を逃さないで作業する事が大事です。ただしサルスベリやザクロなどの暖地性の樹木（春の芽の吹く時期が遅い種類）はこの時期はいくら落葉樹と言っても良くありません。暖かくなる春まで待ちます。カエデ類は遅すぎます。理由は剪定と同じ事が起こるからです。ボタンやシャクヤクなどもこの時期は遅すぎます。

### 冬季の病害虫の防除

退治しにくいアブラムシやカイガラムシを冬季に防除する場合に多く用いられる石灰硫黄合剤やマシン油乳剤は効果があります。しかし薬害等もありますので細心の注意が必要です。薬剤は登録された作物だけに使用が許されています。効果があるからといって何にでも使用する事は禁止されています。

緑化啓発【みどりのイベント】		※3/9(日)のみどり講習会は 10:30 から開催。 庭・樹木のことなど樹木医の先生がお答え致します。	
開催日	教室名	内容	定員
3月9日(日)	記念樹交付及びみどり講習会	記念樹の育て方初歩講座 (季節の管理ポイント) 今が適期の樹木の植え替えについて	・記念樹申請者 ・受講希望者
3月30日(日)	苔玉づくり	苔玉づくり	15名 (事前予約)